

リモートケアシステム

カナデビアは既にA.I/TEC・遠隔監視・運転支援センター(※1)(以下、ROC: Remote monitoring/Operation Center)に接続する遠隔監視・運営支援システムを提供しているが、ROC未接続施設(国内外)の焼却炉で自動燃焼制御システム(ACC)(※2)の運転調整や操炉監視および各種自動制御の再調整などの遠隔監視・運転支援を可能とする「リモートケアシステム」を開発し、海外の2焼却施設に導入した。

キーワード

遠隔監視, ごみ焼却, 運転支援, データ解析, 診断サポート



システムの装置設置例

■ 背景/目的

カナデビアはROCに接続する遠隔監視・運営支援システムを提供しているが、ROCに接続されていない国内施設や海外施設において、導入コストの低減や比較的簡単に接続できる遠隔監視システムが望まれていた。「リモートケアシステム」は遠隔監視を標準装備とし、更にデータ解析・診断サポートなどの機能を強化したものである。

■ 特長/効果

- ・ 導入コストを抑え遠隔接続/切断の操作が容易で、導入も容易。
- ・ 必要十分なセキュリティを保ち、遠隔接続、データ収集・蓄積が可能。
- ・ 問題発生時に蓄積したデータを使用して要因解析が可能。
- ・ DCS(※3)での各種データの収集・蓄積や可視化が可能なEVOLIoT(※4)を採用。
- ・ プラント設備にトラブルが発生した時、メールによるアラート通知が可能。
- ・ 毎月、レポートを自動作成かつ自動配信が可能。

■ 導入事例

- ・ トラブル発生時の運転情報確認および解析、原因究明ツールとして使用。
- ・ 連続稼働試験の状況確認や稼働条件成立の判定、および発電効率が契約値以上であることの演算ツールとして使用。
- ・ DCS画面やITVカメラ映像の監視、確認に使用。

■ おわりに

当社は、「リモートケアシステム」をより良くご使用いただくために、継続して改良改善を行っていく。

(※1) A.I/TEC

Kanadevia 先端情報技術センター

(※2) ACC

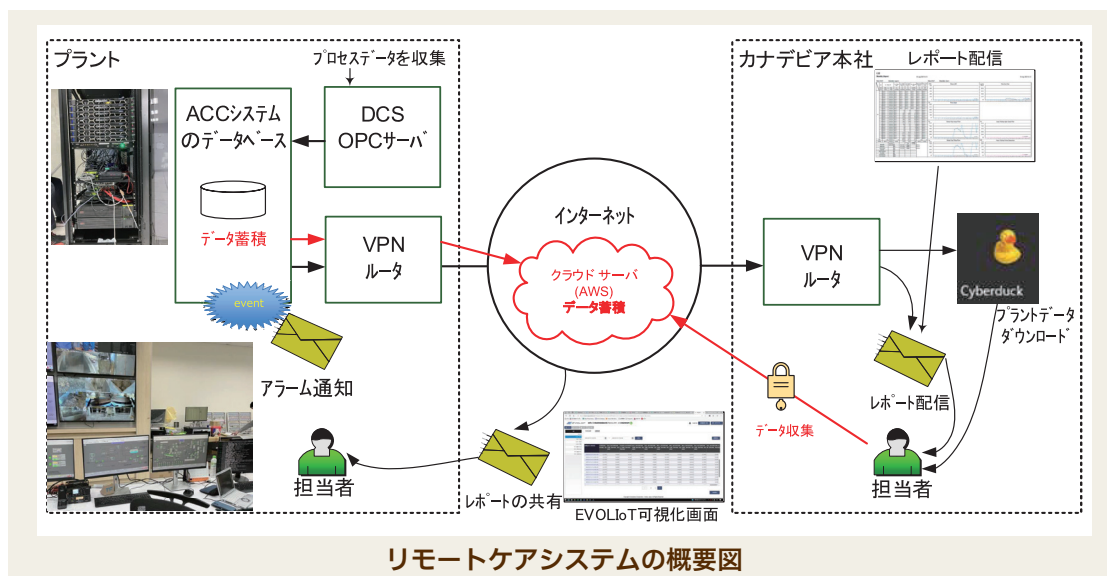
Automatic Combustion Controlの略称。ごみ焼却施設においてごみ焼却の自動燃焼制御を行う。

(※3) DCS

Distributed Control Systemの略称。ごみ焼却施設においてプラント全体の監視・制御を行う。

(※4) EVOLIoT

呼称; エヴォリオット。Kanadevia DXを推進するIoTセキュリティプラットフォーム。データ収集・蓄積・可視化・分析および閾値・製品アラート通知ができる基盤。



【問い合わせ先】 カナデビア株式会社
環境事業本部 電気計装制御設計部 ソリューション・プロセス制御システムグループ
Tel : 06-6569-0258 E-mail : satoh_akitoshi@kanadevia.com